

「震災文庫」の紹介

神戸大学附属図書館 情報管理課雑誌情報係

益本 禎朗

震災文庫の現在

KOBE

資料点数(2013年3月3日時点)

4,938件(4,619タイトル) 50,650件(28,200タイトル) デジタル化件数 収集資料件数



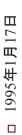




第2回被災地図書館との情報交換会 2013/03/08

震災文庫のはじまり

KOBE Generally 1000



阪神・淡路大震災が発生



被災地の中の図書館として

· 災害復興·地震研究·防災研究 への寄与を目的に

震災資料の収集・保存・公開



収集から公開まで

ロ 収集から公開まで

図書館再開 1995年1月30日

資料の収集を開始 1995年4月頃

1995年 10月 30日 震災文庫の一般公開。

震災文庫 一般公開-

収集資料の目録(収書速報)を冊子・web公開。

第2回被災地図書館との情報交換会 2013/03/08

震災文庫の特徴①



図書・雑誌だけでなく、ボランティア団体のミニコミ誌、 ビラやポスター、写真、動画等も収集。

※但し、モノは収集していない

▼資料の管理(例)

一枚もの資料・・・プラスチック・ケースに入れて保管

新聞…当時の地方版原紙を製本地図…エンキャプスレーション

図書館の十進分類を参考に 独自に分類



資料の管理(例)

KOBE



・クリアケースに収納

サイズごとに保存



論文の抜き刷り、講演会のレジメ

•簡易製本

・背表紙にタイトルを貼付

第2回被災地図書館との情報交換会 2013/03/08

震災文庫の特徴②



口「一般公開」

大学構成員や研究者に限らない、一般公開。貸出は不可。

ロ「インターネットの最大限の活用」

本文情報の提供も開始

1998年10月 画像データを書誌情報に添付して公開

ロ デジタルアーカイブの取り組み

デジタルアーカイブの構築

1999年 7月 電子図書館システム導入に伴い、

時間的・空間的制約にとらわれない資料の利用。

一次資料のデジタル化・公開

● 新聞·広報誌紙

O. R.R. QRS PRATECT BY T. C. BR BY TRAIN BY THE PROPERTY OCCUPATION OF THE PROPERTY OF THE ### 700 halfer yo | 1930]

(### 700 halfer yo | 1930]

第2回被災地図書館との情報交換会 2013/03/08

第2回被災地図書館との情報交換会 2013/03/08



KOBE

これらのジケ大権権は、「等がアルシジ」、「発酵しゲナシシブ」会議の終めたや、他人のだめらお飲むいだだいたもの 「です。 「ご覧いただくにはプラウィンが必要です。

動画資料のデジタル公開

8 1995年1月17日-6月10日) 最影: 谷遠好

版材大権災の記録 (1995年1月17日-2月11日) 機能:由井弘一

東日本大震災関連のうごき

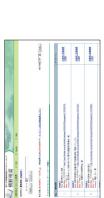
KOBE



収集・公開に係わる情報交換会」実施 「被災地図書館との震災資料の 2012年 2月

「東日本大震災アーカイブ」(13年3月公開)に資料情報を提供

第2回被災地図書館との情報交換会 2013/03/08

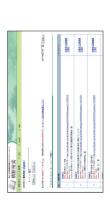


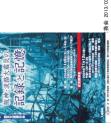


展示会や横断検索構築

2009年 1月 人と防災未来センターの所蔵資料との横断検索 2004年11月 展示会「阪神・淡路大震災の記録と記憶」 2009年10月 展示会「阪神大震災の記憶と現在」

(人と防災未来センターと共催) 2012年 3月 横断検索に兵庫県立図書館が参加





第2回被災地図書館との情報交換会 2013/03/08

動画資料のデジタル公開画面

解以記録時億 (1995年1月27日,2月22日) 機影:井崎正也